



(仮称)かすみがうら市地域福祉センターやまゆり館 完成



市では、整備を進めていた(仮称)地域福祉センターやまゆり館を完成させ、平成二十年四月一日にオープンを予定しています。

この施設は、現在社会問題となっている少子化・高齢化・核家族化などのさまざまな環境の変化により失われつつある世代間交流を促進するコミュニティ施設として整備してきました。高齢者の介護予防、子育て支援の機能も備えており、昨今の少子高齢化に即応できる施設となっております。

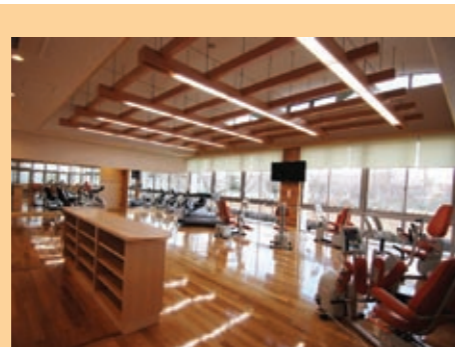
また、この施設の建設は、地域福祉センター整備事業として、平成十七年四月から合併特例債事業(※)のひとつとして進めてきたものです。霞ヶ浦町と千代田町の両町合併当初、千代田地区には霞ヶ浦地区のあじさい館のような福祉機能を備えたコミュニティ施設がなく、市内において均等かつ十分な福祉サービスが得られていなかったのが現状です。しかし、当施設を整備したことにより、子育て支援の充実、高齢者の健康づくりに大きく寄与することができ、今後時代に沿った施策展開を進めることで、あじさい館とともに市の福祉の拠点になることが期待されます。

所在：下稲吉二四三一九
(下稲吉東小学校の隣)
電話：0299-8321-5600
FAX：電話番号と同じ
管理：市社会福祉課
構造：鉄筋コンクリート造り
(一部木造) 平屋建て
床面積：一〇一六九四平方メートル
敷地面積：六七七九七平方メートル
駐車場：六四台
(障害者用 五台)
総事業費：三億二千三十九万円

(※)合併特例債って何？
合併市町村が、まちづくり推進のため市町村建設計画に基づいて行なう事業で、一体性の速やかな確立を図るため、または均衡ある発展に資するために行なう公共的施設の整備事業に要する経費について、合併年度およびこれに続く十カ年度に限り、その財源として借り入れることができる地方債のことです(全体事業費の95%)。その元利償還金の70%は地方交付税として後年に交付されます。



下稲吉東小学校に隣接しており、神立駅からは約1.4km。コミュニティバスの路線・時刻も4月から変更になり、当施設の前を通りますので、ご利用する方は3月上旬配布の「コミュニティバス利用ガイド」をご覧ください。



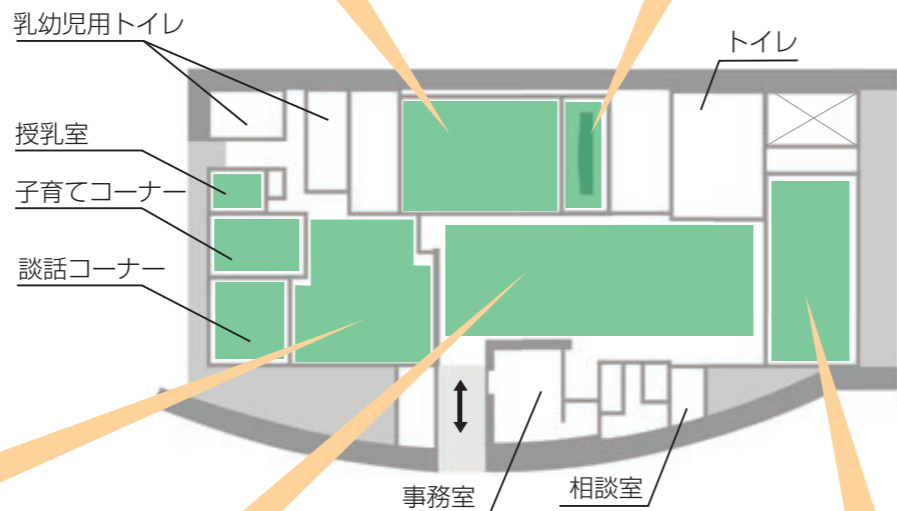
健康づくりコーナー

65歳以上の一般高齢者を対象に健康づくり教室を開催し、介護を必要としない健康な老後を目指すため介護予防事業などを展開します。トレーニング用の機材は一般の方も使用できるもので、事業の空き時間は市民に開放し、活用を促進します。



足湯コーナー

運動の後に足の疲れをいやすことができます。外の景色に触れながら、新たなコミュニケーションの場としてもご利用いただけます。



キッズコーナー



概ね0歳から3歳までの親子を対象とし、親子で一緒に遊べる場を提供し、育児相談、読み聞かせなどの事業を展開していきます。談話コーナー、子育てコーナー、授乳室が隣接しています。また、この部屋から屋外の遊具広場・砂場へと通じており、遊び終えた後に汚れを落とせるようにシャワーを設置しています。

ホール、ロビー



広々としたコミュニティスペース。館内全体を見渡すことができます。世代間交流の場になります。

会議室



最大70人が利用できる会議室。パーティションで30人用と40人用の2つの会議室として区切ることも可能です。プロジェクターを備えておりプレゼンテーションなどにも利用できます。

※写真は3月上旬に撮影したもので、室内の備品が整っておりません。
※施設を利用するには料金が発生しますが、これについては次号の広報誌に掲載いたします。また、市のホームページでもお知らせいたしますのでそちらもご覧ください。

4月から健診の仕組みが変わります

40歳以上の方の「基本健診」は、「特定健診」と名称が変わり、40歳から74歳までが対象となります。75歳以上の方も、検査項目が異なりますが一緒に受診してください。

※被用者保険（政管健保・組合健保など）の被保険者はそれぞれ加入している保険者にご確認ください。

ご自分の保険証のご確認を！

4月からは、加入している医療保険者（国民健康保険・政府管掌健康保険・組合管掌健康保険・共済組合など）が特定健診の案内・実施をします。受診する場所など基本的にはこれまでの健診と変更はありません。

国保 国民健康保険に加入されている40歳以上75歳未満の方は、市が実施します。

75歳以上 後期高齢者医療保険者が実施します。（一定の障害がある65歳以上の方を含む）

社保 社会保険に加入されている40歳以上75歳未満の方は、加入している保険者のもとで特定健診を受診します。また、その被扶養者の方で40歳以上75歳未満の方にも医療保険者から特定健診の案内が届きます。

特定健診って何？

近年、日本人の生活習慣の変化などにより、心疾患など生活習慣病を原因とする死亡は、全体の約3分の1にものぼると推計されています。

内臓脂肪を減らすことで、これらの病気の発症を抑えられることが明らかになってきているため、メタボリックシンドロームを改善し、生活習慣病を予防しようという新しい健診が「特定健診」です。



★ 特定健診の流れ (STEP 1~4)

STEP 1 特定健診の案内

年に1回、医療保険者から送られてくる健診の案内（受診券）に従い、健診会場（保健センター・医療機関など）で受診します。国民健康保険の加入者には、6月上旬頃受診券を送付する予定です。

STEP 2 特定健診の受診

新たに加わった「腹囲測定」などで、メタボリックシンドロームのリスクを調べます。受診券・健康保険被保険者証をご持参ください。

STEP 3 判定・結果通知

メタボリックシンドロームの判定結果と健診結果を通知します。生活習慣を改善する必要性の度合いから、保健指導のレベルを区分します。

STEP 4 特定保健指導

判定結果をもとに、必要な方に対し、保健師や栄養士などが、面談や電話などで生活習慣改善の支援・アドバイスを行います。

各種がん健診は
今までどおり40歳以上の市民（子宮がん健診は20歳以上、乳がん健診は30歳以上の女性）を対象にかすみがうらが実施します。

※政府管掌健康保険
加入者本人の健診について生活習慣病予防健診を受診している方は、特定健診ではなく、健診内容が充実しているこれまでどおりの健診を受診ください。

詳しくは、4月に配布される健康カレンダーをご覧ください。
[問い合わせ先] 健康増進課 ☎内線 2462 / 国保年金課 ☎内線 1142

4月からコンビニや金融機関などに広報誌を設置します

市では、「広報かすみがうら」や「議会だより」などの広報誌を自治会や公共施設を通じて配布しています。4月からは、自治会に加入されていない住民の皆さんにも情報が行き届くよう、公共施設のほかに図のようなコンビニ・金融機関などのご協力のほか、「広報かすみがうら」と「議会だより」の設置を始めることになりました。お買い物などでお立ち寄りの際にご利用ください。

- 「広報かすみがうら」（毎月26日頃設置）
- 「広報かすみがうらお知らせ版」（お知らせ記事が多い場合臨時的に10日頃設置）
- 「議会だより」（年4回2・5・8・11月、各月とも26日頃設置）

[問い合わせ先] 広報広報課 ☎内線 1151

No	設置協力店舗
1	ミニストップ (千代田店)
2	ココストア (千代田中志願店)
3	J A茨城千代田 (営業経済センター)
4	セブンイレブン (下佐谷店)
5	J A茨城千代田 (本店)
6	セブンイレブン (千代田下稲吉店)
7	カスミ (千代田店)
8	ココストア (千代田工業団地店)
9	ヨークベニマルカドヤ(千代田モール店)
10	水戸信用金庫 (千代田支店)
11	スーパーマルモ (千代田店)
12	ローソン (千代田稲吉店)
13	ディスカウントストアパルビロー(千代田店)
14	セイコーマート (のぐちや)
15	ファミリーマート (千代田稲吉店)
16	常陽銀行 (神立支店)
17	関東つくば銀行 (千代田支店)
18	トライアル (神立店)
19	セブンイレブン(千代田逆井工業団地入口店)
20	ファミリーマート (土浦おつ野店)
21	ココストア (土浦菅谷店)
22	おかず屋
23	水戸信用金庫 (出島支店)
24	オオタストア
25	セブンイレブン (霞ヶ浦深谷店)
26	J A土浦 (霞ヶ浦南支店)
27	常陽銀行 (出島支店)
28	セブンイレブン (出島西成井店)
29	関東つくば銀行 (霞ヶ浦出張所)
30	ココストア (出島田伏店)
31	J A土浦 (霞ヶ浦北支店)
32	J A土浦 (霞ヶ浦東支店)
33	ベイシア (玉造店)